

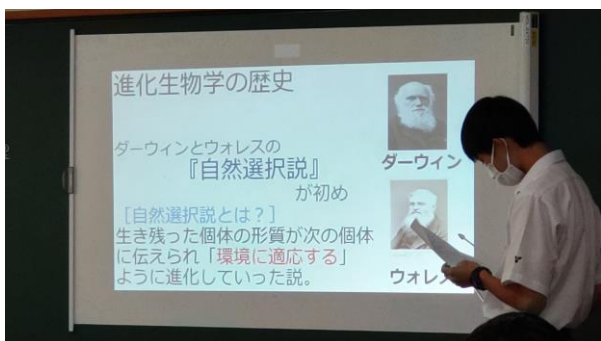
**特集！ 学問探究発表会（1年生）**

1年生(61期生)は、5月から10月まで、総合的な探究の時間を活用し、「学問探究」に取り組んできました。「学問探究」とは、大学で学ぶ学問領域についての知識や理解を深める中で、学問に対して好奇心や熱意を持ち、将来のキャリアや人生の可能性を広げることを目的とした探究活動のことです。今年度も班(4人程度)ごとに学問探究を行い、学年全体で90あまりの学問が調査されました。

10月16日には人文科学(25班)・社会科学(15班)・理工学(22班)・医療/薬学(21班)・学際(9班)の分野に分かれ、『学問探究発表会Ⅰ』を行いました。発表に際して、今年度は複数の方がリアルタイムで同時に編集できるプレゼンテーションソフト「Google スライド」を活用し、スライドを作成しました。



分野別の学問探究発表会の様子①



分野別の学問探究発表会の様子②

事前に練習していたことで本番では、落ち着いて発表していた班が多いように感じました。また、多くの班がスライド以外に「発表用原稿」を作成することで、スライドがコンパクトにまとめられており、視覚的に理解しやすいものになっていました。

発表後に投票・審査を行い、各分野から11の班が代表として選ばれました。

10月23日、各分野の代表による「学問探究発表会Ⅱ(決勝)」が1学年全体を対象に講堂で行われました。



学年全体での学問探究発表会の様子①



学年全体での学問探究発表会の様子②

優れた発表ばかりで、審査する先生方も頭を悩ませていましたが、生徒投票・審査の結果、以下のように順位を決定しました。

最優秀賞:心理学(1-1)

優秀賞:メディア・情報学(1-5)

優秀賞:公衆栄養学(1-7)

今回の発表で上位に選ばれた班は「SSH 先端研究機関研修」として福岡に行く予定です。

スライド発表における重要なポイントとして

- ① スライドは簡潔にまとめ、視覚的に分かりやすいデザインとレイアウトにする。
- ② 聴衆の関心を引くように明確なストーリーラインを持ち、魅力的な始め方と結び方をする。
- ③ 聴衆が理解しやすいよう、ゆっくりと話す。

などが挙げられます。スライドを用いて発表する機会は在学中もですが、大学・社会に出てからも多いと思います。鹿児島中央高校で、プレゼンテーションの基礎的なスキルをしっかりと身に付けておきましょう。